



2026年3月期 第1四半期

株式会社 FUJII 決算説明資料

2025年8月 | 東証プライム・名証プレミア 証券コード：6134

本資料に含まれる全ての内容の著作権は当社に帰属します。当社の許可無く、掲載内容の一部またはすべてを複製、転載する事を禁止します。

目次

- 01 | 2026年3月期 第1四半期 決算概要
- 02 | 2026年3月期 通期業績予想
- 03 | Appendix

01 | 2026年3月期 第1四半期決算概要

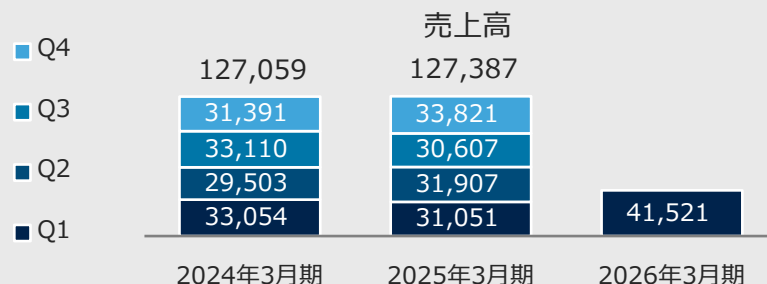
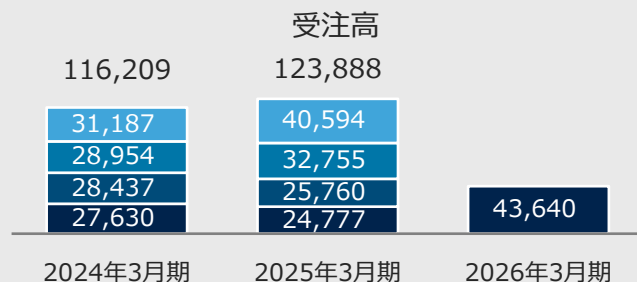


2026年3月期 第1四半期 業績

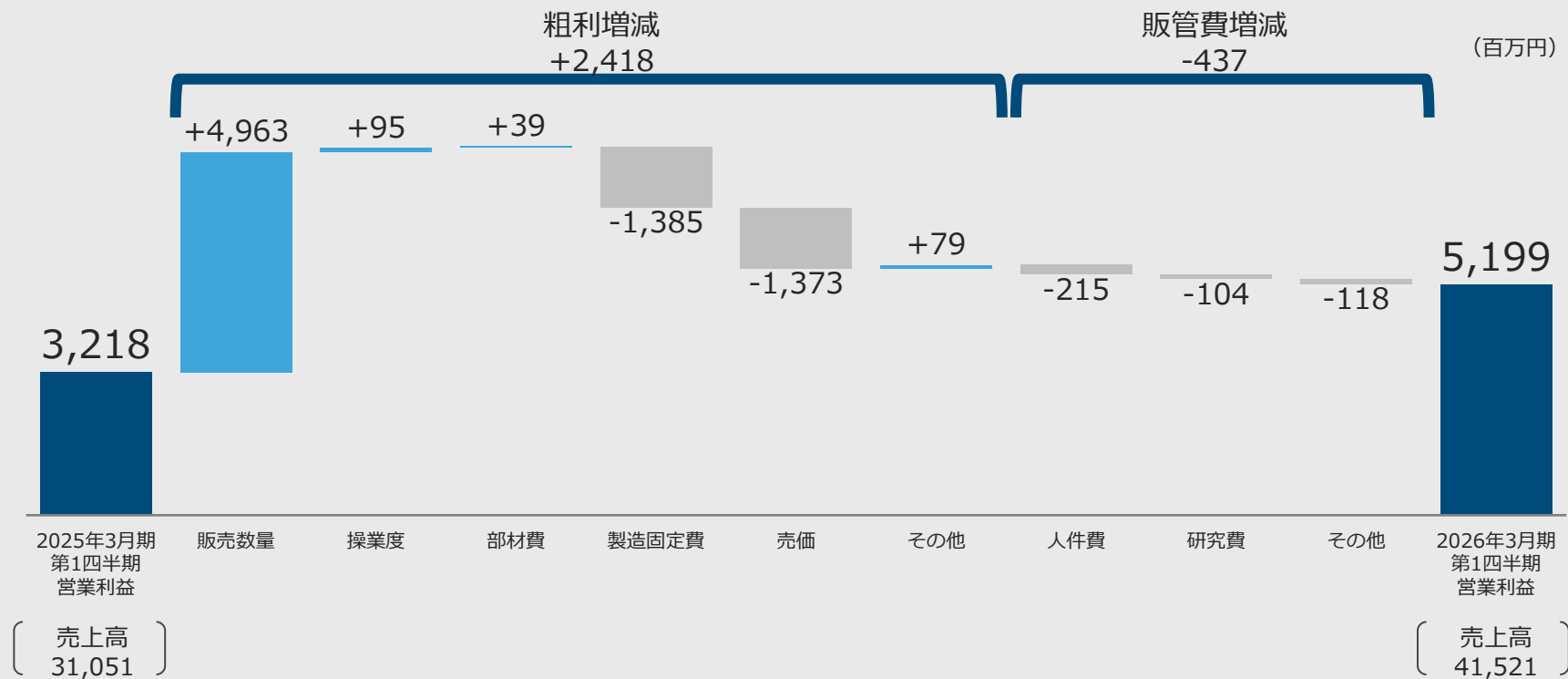
- 売上高は四半期業績としては過去最高
- 受注高・利益についても対前年同期比大幅増

(百万円)

	2025年3月期 第1四半期実績	2026年3月期 第1四半期実績	対前年同期	
			増減額	増減率
受注高	24,777	43,640	+18,862	+76.1%
売上高	31,051	41,521	+10,470	+33.7%
営業利益	3,218	5,199	+1,981	+61.6%
経常利益	3,943	5,631	+1,688	+42.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,639	5,683	+3,044	+115.3%



営業利益増減分析



B/Sサマリー

- 受取手形及び売掛金の増加、未収消費税・投資有価証券の減少により、資産合計は +1,379百万円
- 支払手形及び買掛金・未払費用・預り金の増加により、負債合計は +3,405百万円
- 自己株式取得により、純資産合計は -2,025百万円

(百万円)

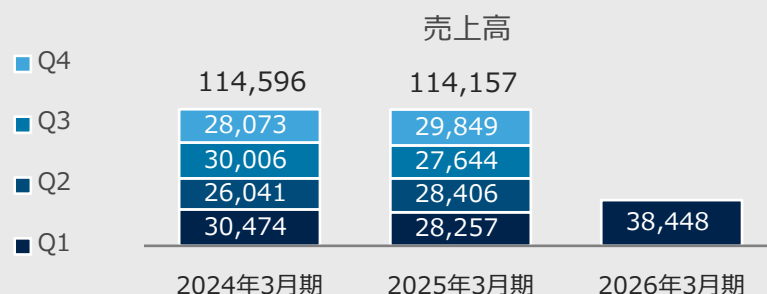
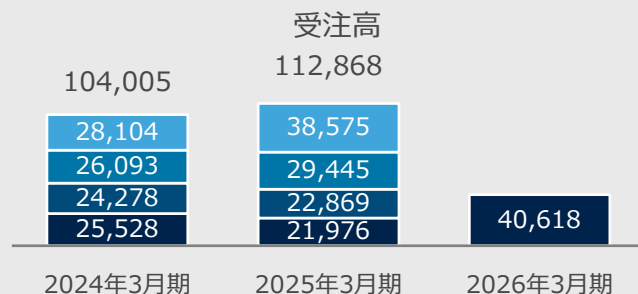
	2025年3月31日	2025年6月30日	対前期増減額	増減要因など
流動資産	155,427	161,501	+6,074	受取手形及び売掛金 +12,023 未収消費税 -4,099 棚卸資産 -1,118
固定資産	88,862	84,166	-4,695	投資有価証券 -4,109
資産合計	244,289	245,668	+1,379	
流動負債	22,256	27,142	+4,886	支払手形及び買掛金 +2,086 未払費用 +1,267 預り金 +1,195
固定負債	3,350	1,869	-1,481	繰延税金負債 -1,443
負債合計	25,606	29,011	+3,405	
純資産合計	218,682	216,657	-2,025	自己株式 -1,839
負債純資産合計	244,289	245,668	+1,379	

ロボットソリューション事業 業績

■ 中国・アジア地域における活況な設備投資により大幅な増収増益

(百万円)

	2025年3月期 第1四半期実績	2026年3月期 第1四半期実績	対前年同期	
			増減額	増減率
受注高	21,976	40,618	+18,641	+84.8%
売上高	28,257	38,448	+10,191	+36.1%
営業利益	3,986	6,178	+2,192	+55.0%
受注残高	28,255	35,416	+7,160	+25.3%



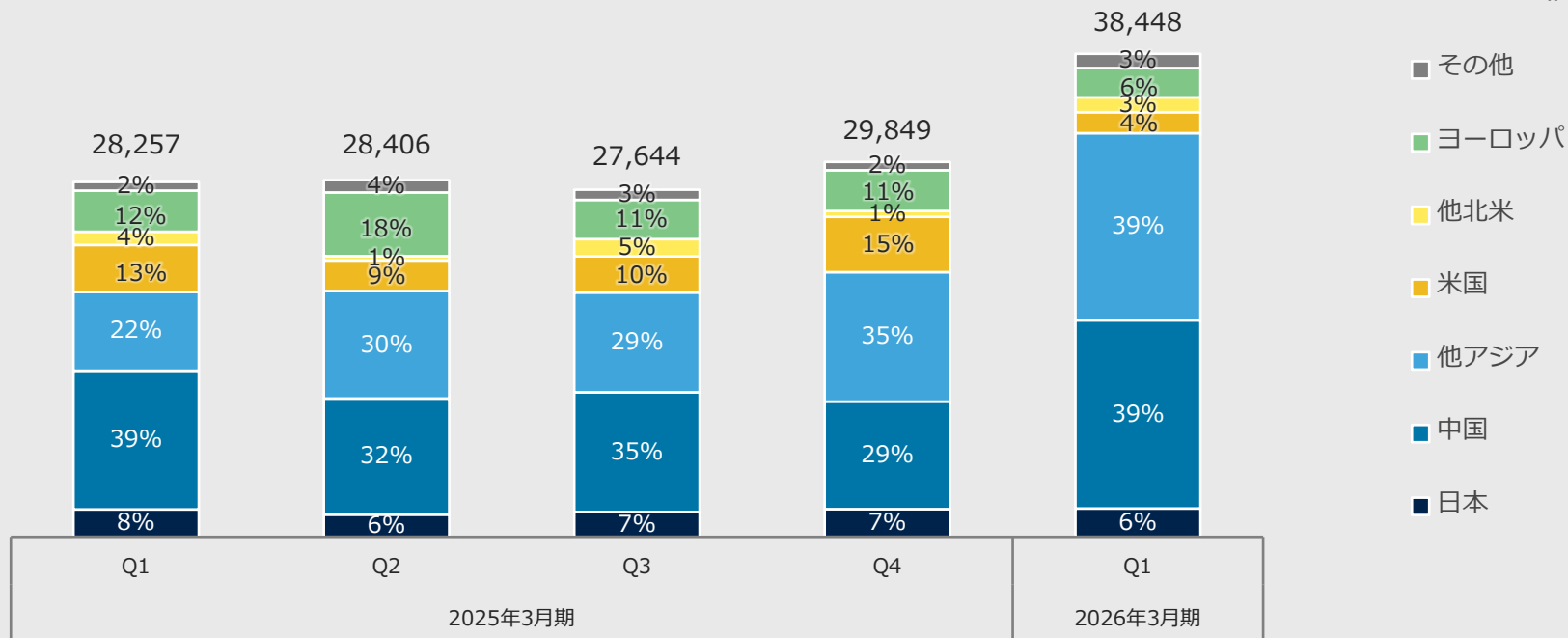


ロボットソリューション事業 地域別売上高

QoQ

- 中国：堅調なスマートフォン市場に加え、車載における旺盛な設備投資により大きく伸長
- 他アジア：生産拠点の多角化・分散の影響により引き続き投資増加傾向

(百万円)

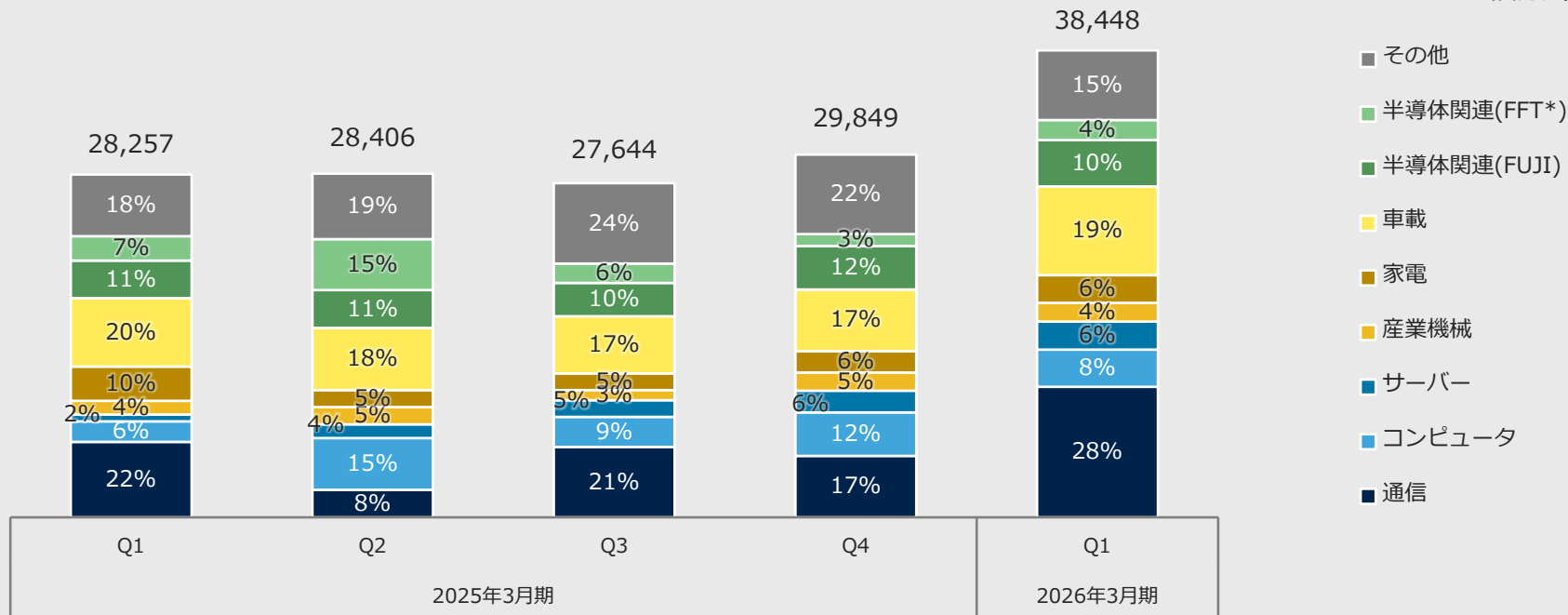


ロボットソリューション事業 業種別売上高

QoQ

- 通信：インドにてスマートフォン向け大型設備投資有、ベトナム・中国市場も堅調に推移
- 車載：中国にてEV向け大型設備投資が複数有

(百万円)



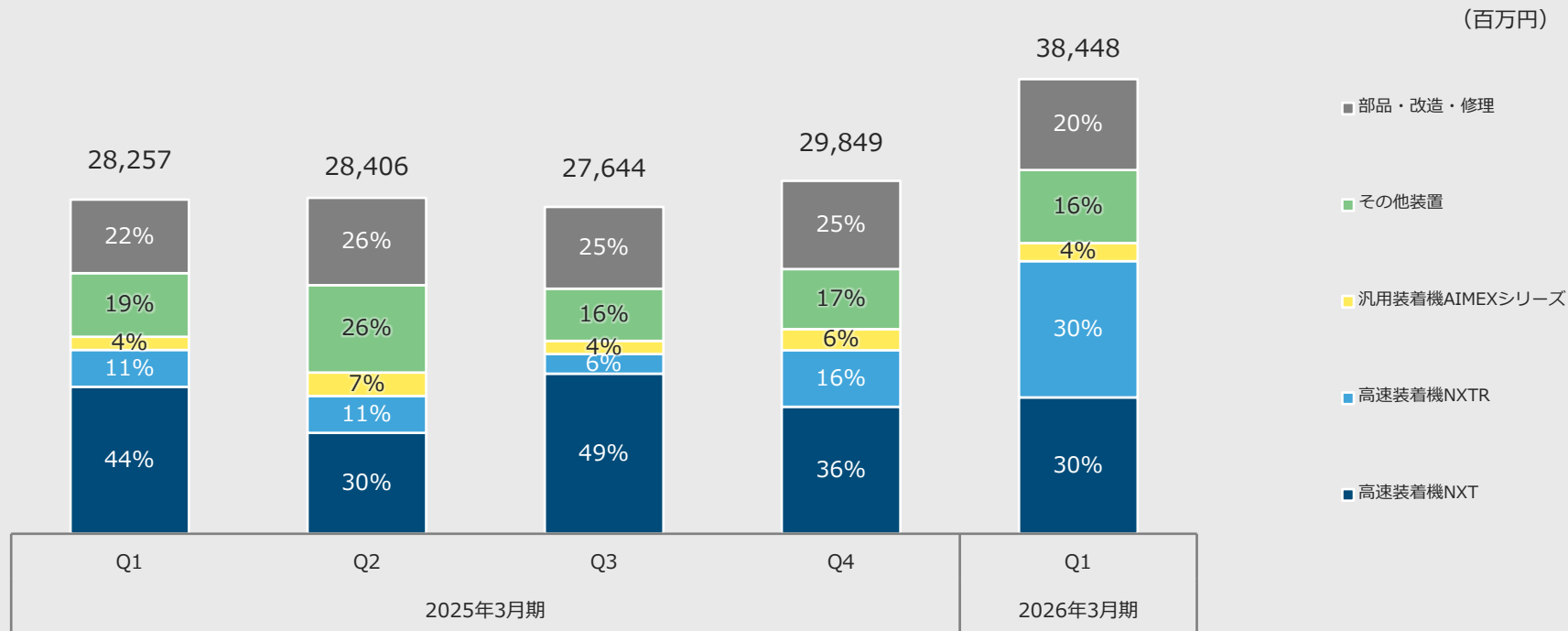
* FFT : ファスフォードテクノロジー



ロボットソリューション事業 機種別売上高

QoQ

■ NXTRへの機種切替が本格化し、NXTと同比率にまで伸長



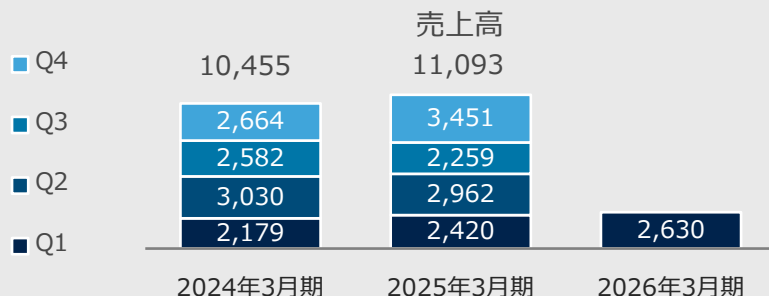
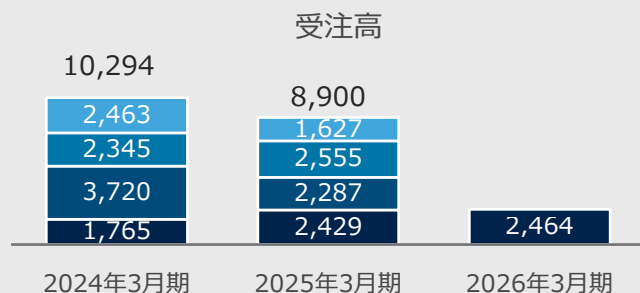


マシンツール事業 業績

- 米国関税影響により先行き不透明感があるものの、各地域から一定の需要を確保し受注高・売上高ともに微増
- 2025年3月期以降の構造改革により利益確保

(百万円)

	2025年3月期 第1四半期実績	2026年3月期 第1四半期実績	対前年同期	
			増減額	増減率
受注高	2,429	2,464	+34	+1.4%
売上高	2,420	2,630	+210	+8.7%
営業利益	34	122	+88	+255.1%
受注残高	7,028	4,659	-2,368	-33.7%



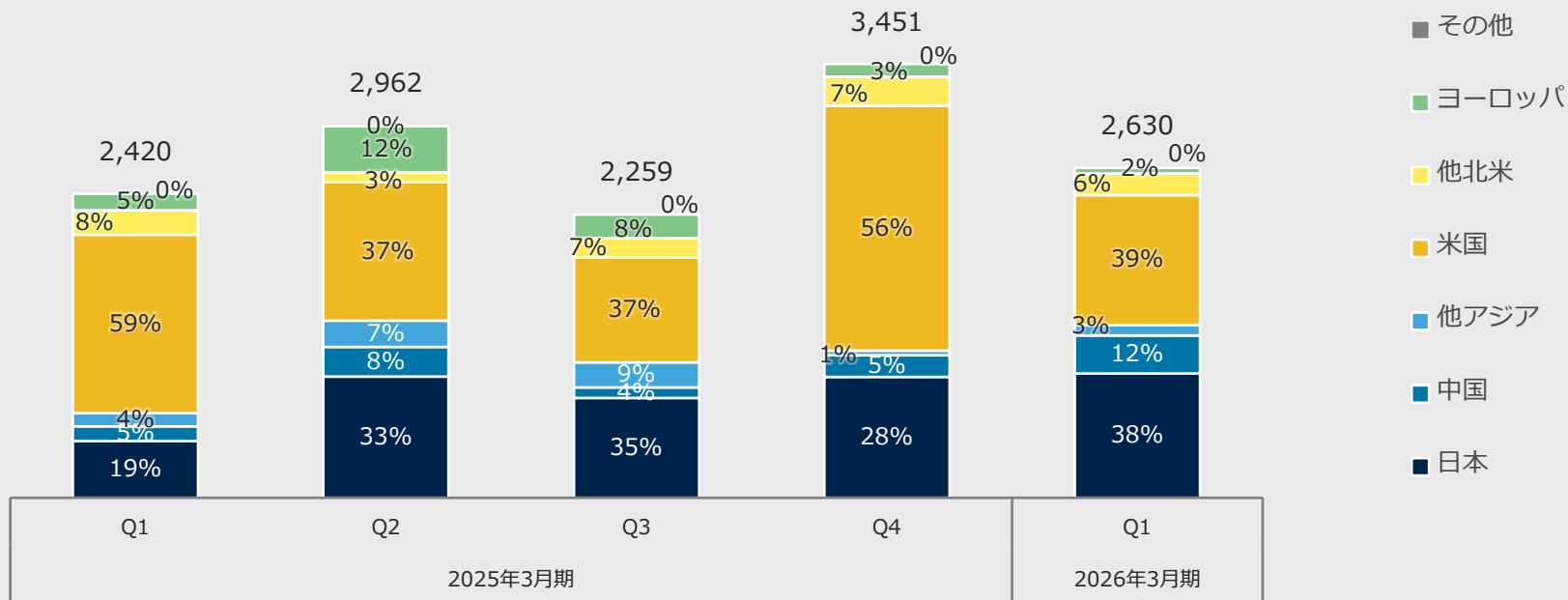


マシンツール事業 地域別売上高

QoQ

■ 米国における設備需要が伸び悩んだ一方、日本および中国で一定程度の設備需要有

(百万円)



02 | 2026年3月期 通期業績予想



業績予想

- 第1四半期のアジア地域での短納期の設備需要を受け、受注高・売上高を上方修正
- 一方、欧米地域の需要が想定よりも低い見込みのため、利益は据え置く

(百万円)

	2025年3月期 通期実績	2026年3月期通期予想				
		2025年5月13日 公表予想	今回予想	対前期実績		対従来予想
				増減額	増減率	増減額
受注高	123,888	144,000	152,000	+28,111	+22.7%	+8,000
売上高	127,387	147,000	153,000	+25,612	+20.1%	+6,000
営業利益	13,781	18,000	18,000	+4,218	+30.6%	±0
営業利益率	10.8%	12.2%	11.8%	—	—	—
経常利益	15,328	18,500	18,500	+3,171	+20.7%	±0
当期純利益	10,906	14,000	14,000	+3,093	+28.4%	±0
設備投資額	14,801	13,000	13,000	-1,801	-12.2%	±0
減価償却費	9,073	10,000	10,000	+926	+10.2%	±0
研究開発費	7,727	8,300	8,300	+572	+7.4%	±0

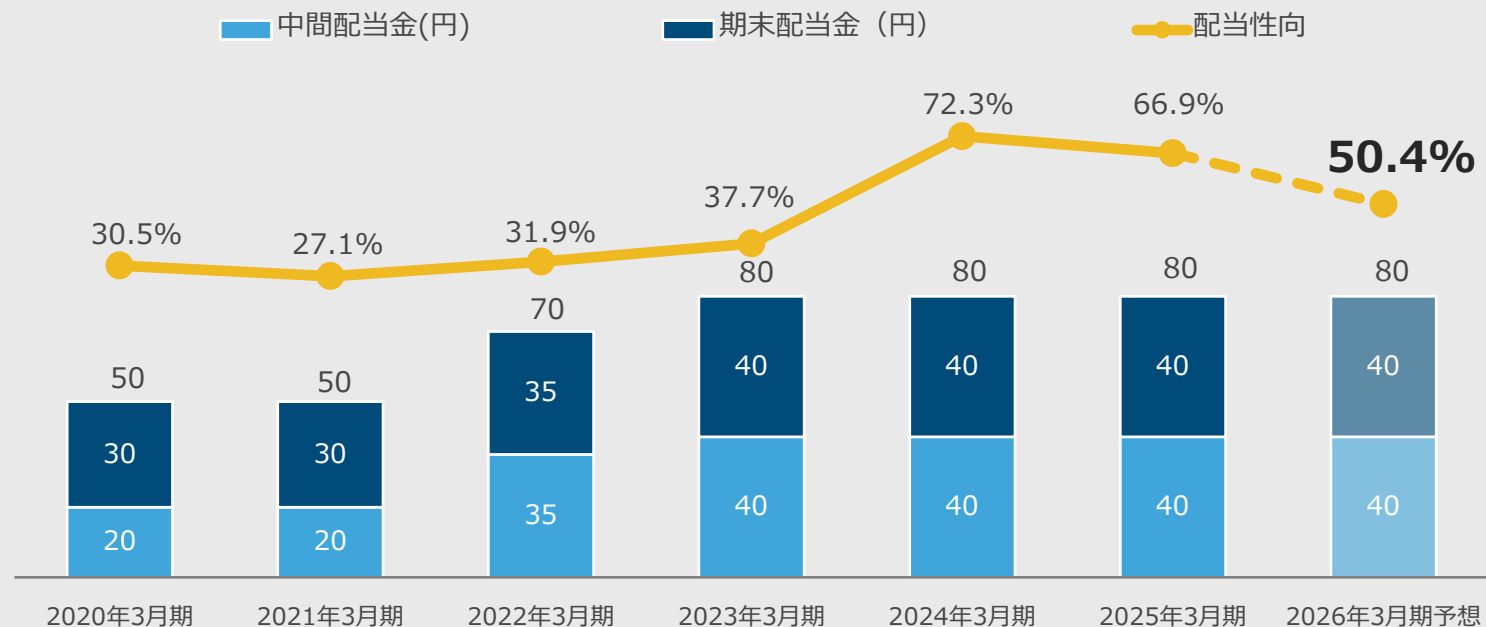
セグメント別 受注・売上通期予想

(百万円)

		2025年3月期 通期実績	2026年3月期通期予想				
			2025年5月13日 公表予想	今回予想	対前期実績		対従来予想
					増減額	増減率	増減額
 ロボット ソリューション 事業	受注高	112,868	132,500	140,000	+27,131	+24.0%	+7,500
	売上高	114,157	135,000	141,000	+26,842	+23.5%	+6,000
	受注残	33,246	30,746	32,246	-1,000	-3.0%	+1,500
 マシンツール 事業	受注高	8,900	9,500	10,000	+1,099	+12.4%	+500
	売上高	11,093	10,000	10,000	-1,093	-9.9%	±0
	受注残	4,825	4,325	4,825	±0	-	+500
 その他 事業	受注高	2,120	2,000	2,000	-120	-5.7%	±0
	売上高	2,136	2,000	2,000	-136	-6.4%	±0
	受注残	273	273	273	±0	-	±0
合計	受注高	123,888	144,000	152,000	+28,111	+22.7%	+8,000
	売上高	127,387	147,000	153,000	+25,612	+20.1%	+6,000
	受注残	38,346	35,346	37,346	-1,000	-2.6%	+2,000

配当金

- 配当性向50%以上、年間配当金下限80円という方針に基づき、期初予定から変更なし



03 | Appendix



会社概要

会社名	株式会社 F U J I（旧社名 富士機械製造株式会社）
創業	1959年4月
本社所在地	愛知県知立市山町茶碓山19番地
代表者	代表取締役社長 五十棲 丈二
資本金	5,878百万円（2025年3月末現在）
売上高	127,387百万円（連結、2025年3月期）
従業員数	2,976名（連結、2025年3月末現在）
主要製品	電子部品実装ロボット（マウンター）、工作機械、半導体製造装置
上場株式市場	名古屋証券取引所 プレミア市場 東京証券取引所 プライム市場 （証券コード：6134）

沿革



- 電子部品自動挿入機 BA 完成



- モジュール型高速多機能装着機 NXT 完成



Quist

- パブリックストッカーシステム Quist 完成
- 移乗サポートロボット Hug 完成



Hug

- FUJI Smart Factory Platform NXTR Sモデル 完成



- 拡張型オールインワン装着機 AIMEXR 完成

1959年

1978年

1994年

2003年

2013年

2016年

2018年

2019年

2022年

2023年

2024年

工作機械

電子部品実装ロボット

新規事業

半導体製造装置

- 富士機械製造株式会社 設立



FS型単能機

- 超高速装着機 CP-6 完成



- 東京証券取引所市場 第一部上場

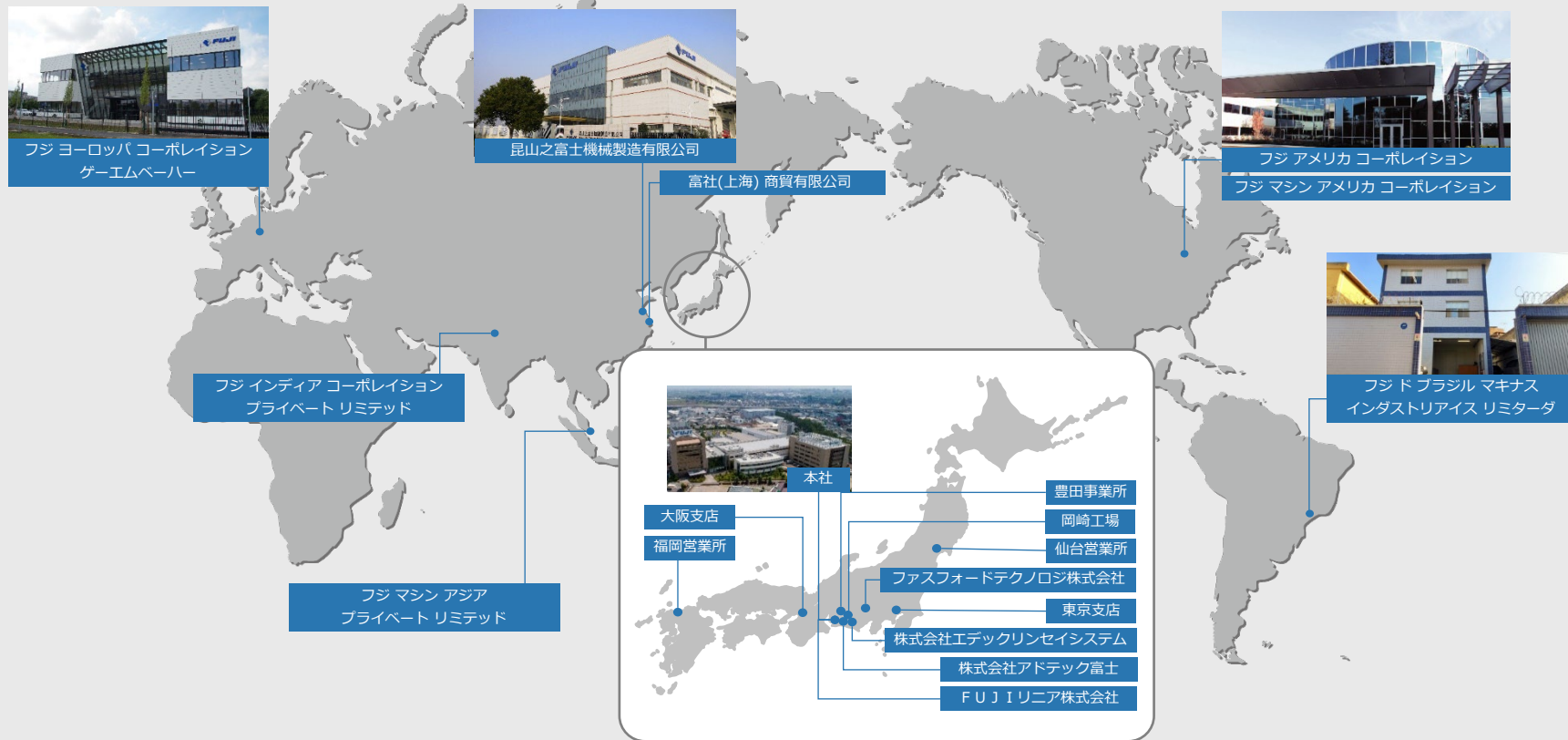
- 株式会社 F U J I へ社名変更
- ファスフォードテクノロジー株式会社を連結子会社化

- FUJI Smart Factory Platform NXTR Aモデル 完成



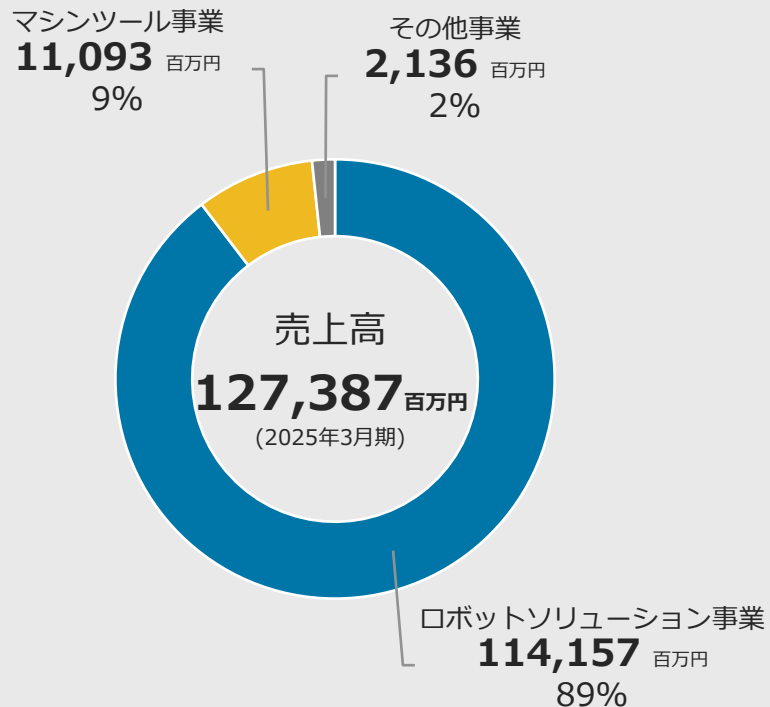
- 岡崎新工場棟 竣工
- 複合旋盤 ACUFLEX 完成

国内外拠点



事業概要

ロボットソリューション事業が9割を占める



ロボットソリューション事業

電子部品
実装ロボット
(マウンター)



半導体製造装置
(ダイボンダ)



ライフサポート



マシンツール事業

工作機械
(旋盤)



マウンターとは

- 表面実装技術 = Surface Mount Technology (SMT)
…電子部品をプリント配線板の上に正確に並べる
- マウンター = (表面) 実装する機械
- 最小で0.25mm×0.125mmの部品を高速・正確に実装
- F U J I のマウンターは極小部品を1秒間に16個並べる
ことができる

マウンター「NXTR」



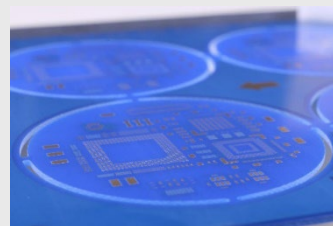
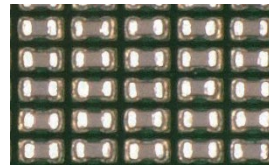
NXTR



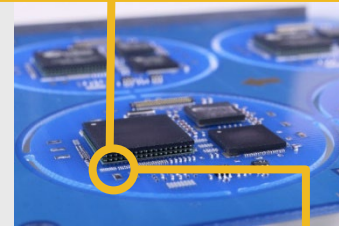
チップ型電子部品

実装精度 ±10μmの誤差

部品間の隙間 X=0.13mm Y=0.08mm

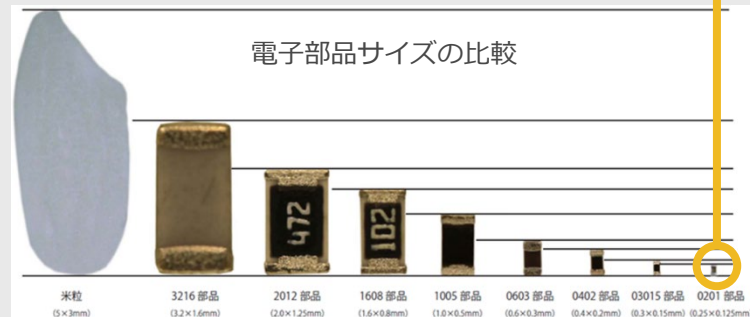


プリント配線板（実装前）



電子基板（実装後）

電子部品サイズの比較



電子製品製造におけるFUJIのかかわり

材料形成 部品加工

- ・電子部品メーカー
- ・基板メーカー
- ・はんだメーカー



電子基板 製造

お客様

- ・EMS*
- ・自動車部品メーカー
Tier1、Tier2 など

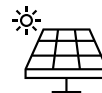
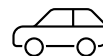
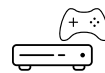


製品組立

- ・各種メーカー



最終製品



表面実装工程



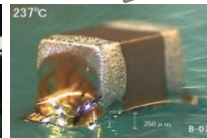
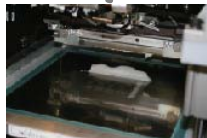
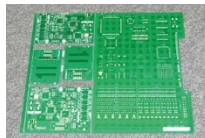
NXTR PM
FUJI Smart Factory Platform



NXTR
FUJI Smart Factory Platform



AIMEXR



プリント配線板

はんだペーストを印刷

電子部品を並べる

リフロー炉で加熱

電子基板完成

* EMS : Electronics manufacturing serviceの略称で、他社の製品の製造を請け負う企業・サービスのこと。

FUJIの強み

■ 技術力

- ・ モーター、サーボ、画像処理などのコア技術を全て自社開発



■ モジュールコンセプトに代表される独創的な製品開発

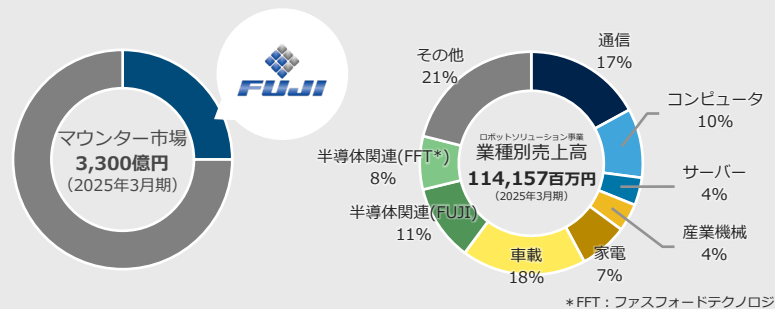
- ・ 国内外特許登録件数 7,000件以上 (2025年3月末時点)
- ・ 受賞歴

2014年 「第6回ロボット大賞 経済産業大臣賞」
 2016年 平成28年度全国発明表彰「文部科学大臣賞」
 2018年 第50回市村産業賞「功績賞」



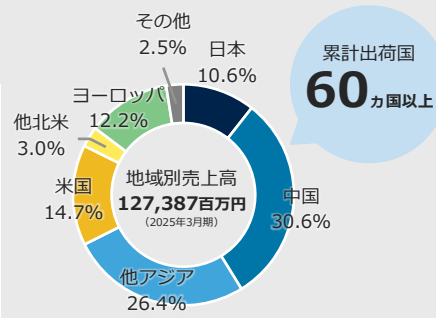
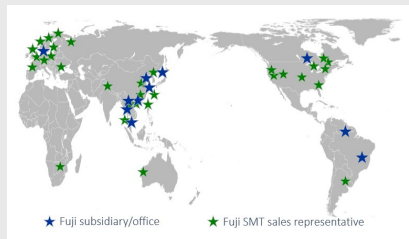
■ 世界シェア: トップクラス

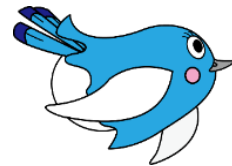
- ・ 幅広い業界・業種の顧客層



■ 世界中のセールス・サービスネットワーク

- ・ 各地域のお客様に寄り添い生産をサポート





【本資料お取り扱い上のご注意】

本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予測ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる場合があります。

【 IRに関するお問い合わせ】

株式会社 F U J I 経営企画部 IR担当

E-mail : irsr@fuji.co.jp

Webサイト : <https://www.fuji.co.jp/ir/>

